



日本カーペット工業組合

# JCM ニュース

第322号

2023年(令和5年)1月発行

発行所  
**日本カーペット工業組合**  
 大阪市中央区本町橋2-5  
 〒540-0029 (マイドームおおさか5F)  
 TEL. (06) 6809-2868  
 FAX. (06) 6809-2869  
 URL <http://www.carpet.or.jp>  
 E-mail [info@carpet.or.jp](mailto:info@carpet.or.jp)  
 毎月1回5日発行

## 年頭所感

# カーペット復権目指し

# 宿願達成に向け全力注ぐ

日本カーペット工業組合 理事長 永田鉄平



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には平素より当組合の活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年のカーペット業界を取り巻く事業環境は、パイル糸をはじめとする原材料の価格が高騰し、電気・ガス代といったユーティリティコストの上昇も止まらないなど、引き続き非常に厳しいものでした。

カーペットの生産に関しては、オフィス向けタイルカーペットなど複数の用途がようやくコロナ前レベルに近づき、長らく停滞していた宿泊施設向けも徐々に動き出してきました。一方で、家庭用や自動車用などは低い水準での推移が続いており、業界全体の早期の回復が待たれるところです。

組合の事業活動としましては、「カーペッとはすばらしい」の合言葉のもと、運営・広報・技術委員会を中心に、需要振興および業界基盤の強化などにつとめて参りました。なかでも注力しているのが、当組合が2

021年春に発行した冊子「新訂カーペッとはすばらしい」の拡散、認知度向上です。同冊子はメインコンテンツ「カーペッをおすすめする10の理由」をはじめ、カーペットの魅力をあらゆる角度からまとめたものです。いまや、業界のバイブルの読み物であり、インテリア関連業界の皆様には是非とも一読いただきたいと存じます。

そしてもう一つ、私たちにとって大きな取り組みテーマがあります。カーペッとダニアレルギーを不当に関連づける、いわゆる「ダニ問題」です。この問題の解決を目指す、私たちはマスコミなどで誤った情報が報じられるたびに抗議文を送付し、「カーペットの無実」を強く訴えてきました。

そもそも、長年にわたりダニ問題を解決できないのは、アレルギー学会などが発行する喘息治療ガイドラインに「(喘息対策として)カーペットは敷かない」と載っていることが大きな理由の一つです。しかし2020年末、米国の喘息ガイドラインで従来は推奨事項であった「カーペッを硬質床材に取り換えるべき」という文言が削除されたことで、風向きが変わりました。

歴史的な大転換とも言える米国での動きをきっかけとし、当組合も2021年から国内のアレルギー関連団体への働きかけ(「カーペッは敷かない」の削除要求)を開始いたしました。

今年も同団体との協議、交渉を継続し、時間がかかるかもしれませんが、業界の宿願達成に向け、あらゆる策を講じていきたいと考えています。

冒頭でも触れましたが、業界を取り巻く

事業環境は決して楽観できるものではありません。しかし、現在カーペットの生産に励む私たち組合員はこれまで幾度となく、世界的な経済危機や自然災害などの逆境をはねのけてきました。

今後、賛助会員様とのパートナーシップを一層強化し、他団体との連携も図りながら、厳しい状況ではありますが業界の健全な発展と共存共栄に向けて邁進して参る所存でございます。

最後になりましたが、組合員の皆様、そして関係業界の皆様方には、本年もより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新春賀詞交歓会

当組合は1月13日(金曜日)、令和5年新春賀詞交歓会を開催いたします。

会場はヴィアアール大阪(大阪市中央区安土町3-1-3)2F・安土の間。午後5時からの開始予定です。

なお、今後のコロナ感染者人数によっては開催を中止する場合がございます。ご了承ください。

JCM 2022年11月度 タフテッドカーペットの用途別・素材別総生産量(速報値)

(単位:千㎡:%)

素材区分	用途区分	ロール	タイル	ピース・ラグ	折タタミ	車輦用		人工芝	その他	合計	対前年同月比	1~11月累計	対前年同期比
						ライン	オプション						
紡績糸	毛	22		10						32	(88.9)	335	(100.0)
	ナイロンS										-		-
	アクリルS	2		28	24				5	59	(105.4)	603	(103.1)
	ポリエステルS			26	225					251	(92.6)	2,743	(94.9)
	その他									44	(151.7)	3	-
小計		24		64	249				49	386	(98.5)	4,154	(101.4)
フィラメント	ナイロンF	87	1,234	20		79	76	3	94	1,593	(98.1)	17,428	(103.0)
	ポリエステルF	5	3	15			1		4	28	(50.0)	681	(81.8)
	ポリプロピレンF	19	836	36	6	2	72	44	1	1,016	(81.4)	12,059	(90.9)
	その他							70	9	79	(91.9)	657	(120.6)
	小計		111	2,073	71	6	81	149	117	2,716	(90.1)	30,825	(97.7)
合計		135	2,073	135	255	81	149	117	157	3,102	(91.1)	34,979	(98.1)
対前年同月比		(87.7)	(92.4)	(74.2)	(98.5)	(68.6)	(94.9)	(80.1)	(106.8)	(91.1)			
1~11月累計		1,609	23,769	1,563	2,778	1,193	1,462	1,000	1,605	34,979			
対前年同期比		(94.8)	(100.9)	(81.4)	(95.7)	(79.6)	(78.4)	(109.2)	(124.6)	(98.1)			